新製品紹介

東洋システム

ファームスタッフ発売

ハイテムファームコンピュータシステム さらに充実

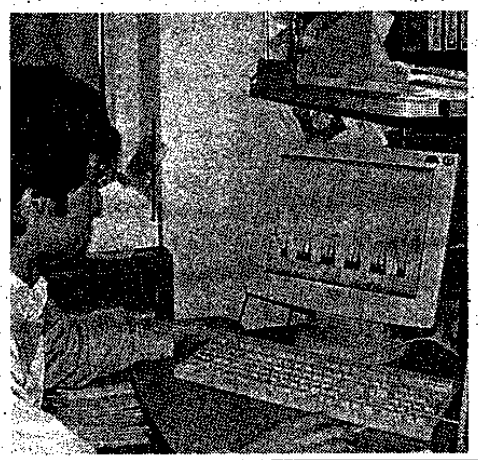
東洋システム㈱（安田勝彦社長―本社・岐阜県各務原市金属団地九七―四）は、給餌・給水・温度など、精密自動化養鶏に欠かせない鶏舎情報を、リアルタイムに分かりやすく表示して自動記録するファームコンピュータ「ファームマネージャー」を、十二年前から自社で開発し、販売しているが、数年前からは同社が納入するシステム鶏舎のほぼ九〇％に同時納入されるようになった。このため同システムを採用している農場は、今年三月時点で全国五十か所に達している。

一方、同社は、農場でより快適で的確な管理に役立ててもらうため、新たに「ファームスタッフ」のソフトを開発し、三月から納入を開始して注目されている。

「ファームスタッフ」は、「ファームマネージャー」で得られたデータを産卵グラフ、日報、週報などに自動表示し、リアルタイムに情報を分析して記録するシステムである。ただし、事務所で処理される週報、月報、群別管理など、バッチソフトとは一線を画し、農場事務所で簡便に成績を分析し、成績向上への対策を直ちに打てることを狙っている。

同社では「ファームスタッフ」のフィールドでの評価を確認後、十月からは「ファームマネージャー」の納入先に対して、「ファームスタッフ」併設のバージョンアップを提案することを予定している。

「ファームマネージャー」と並んで多くのインライン農場で使用されている「エッグフローコントロール」も、コンピュータ設定の卵数がパッカーまたはGPマシンに安定して流入し、しかも最新バージョンでは、集卵開始の立ち上がりや、集卵終了の卵数不足が解消されることから、集卵室またはGPセンターでの作業効率の向上に役立ち、評価が高まって採用が増加している。



群馬・ホクグンファームに納入したファームスタッフ付きファームマネージャー

鶏鳴新聞
2003.4.15